

- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
 - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
 - 1 働くよこびと心のふれあいを大切にしましょう
 - 1 すくれた教育と文化を育てましょう
 - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう



保健センター完成予想図

保健センター建設へ

9月着工 来春完成

市民の健康づくりの拠点に

- ◆ 市では、かねてから要望が強かった「向日市保健センター」の建設を、寺戸町東野辺に予定しています。
- ◆ 現在、六月定例会市議会に設計・建設費の予算案を提案、議決されると今年九月に着工、来春には完成の予定です。
- ◆ 完成すると、総合的な市民の健康づくりの拠点として活用されることが期待されます。

近年、糖尿病・肥満・高血圧・動脈硬化症・貧血など、現代病ともいえるべき疾患が増え、早期治療が必要である病が急増し、低い年齢層にのり同時に、治ゆ後の再発を防止するのが困難な病気でもあり、きめ細かな健康管理が要求されます。さらに、母子保健対策や成人病予防対策、ねたきり老人訪問看護指導事業をはじめとする老人健康対策事業など、保健センターの役割がますます大きくなってきています。

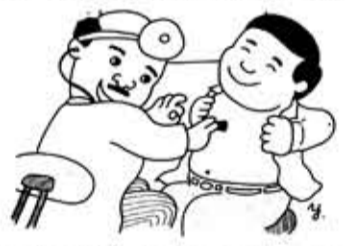
しかし現在、向陽小学校内にある保健センターは、老朽化が著しいうえに、せ

まく、予防接種や検診なども一部は、公民館などで行っている状態です。そこで、市民のライフサイクルに合わせた総合的な健康づくり対策推進の拠点として、保健センターを新築することにしました。新築する保健センターは今年三月にオープンした、ひまわり公園の南側、乙訓病舎組合跡地と向陽保健所の一部を加え、敷地面積約一千三百平方メートル。延べ床面積は、約七百六十平方メートル。鉄筋コンクリート二階建てで、一階は百二十五平方メートルのスペースを持つ予防接種運動指導室、保健指導室、診察室、検査室、事務室、展示コーナーや乳幼児遊戯コーナーを設けた待合ホールなど。二階は、講座室、成人病患者などの食事の指導などを行う料理実習室、相談室(和室)などを設置。予防接種や検診、相談や教室などの事業を一括して行うことができます。総事業費は、二億五千八百萬円の予定です。



保健センター建設予定地

保健センターのおもな事業



- 新築される保健センターでは、次のような事業が行われる予定です。
 - 予防接種
 - 三種混合・ポリオ・日本脳炎・インフルエンザ・ツベルクリン反応・B.C.G
 - 母子保健対策
 - 「健康診査」3か月児健診
 - 成人病対策
 - 「検診」胃ガン検診・心臓病検診・結核検診・乳ガン検診
 - 「相談」成人病相談
 - 「健康教室」特別講座・単発講座・高血圧教室
 - 老人健康対策
 - ねたきり老人訪問看護指導事業の指導員活動拠点
 - 献血運動
- そのほか市では、中高年の健康づくり対策として、健康体操や機能回復訓練などの場としての活用や、赤ちゃんからお年寄りまで市民のみならず、いつでも気軽に利用していただける施設として考えています。

“郷土の川を美しく、”

川はかけがえのない私たちの大切な財産です。その町を流れる川の美しさによって人びとの自然を愛する心がはかれるといわれます。今、川に美しい流れをとりもどすために、私たちひとりひとりの協力と川をきれいにする日ごろの心がけが、ぜひとも必要です。さあ！私たちの手で郷土の川をいつまでも美しく守りましょう。

■ 向日市 川を美しくする会 ■

